

# 石川県スポーツトレーナー連絡協議会

## 令和3年度 第3回理事会 議事録

日 時：令和3年7月20日（火） 20時～20時40分

会 場：オンライン会議

出席者：北岡克彦、西尾眞友、河合甚敏、常盤和成、田中良和、宮川巖幸、西川典孝、  
守山成則、俵 大輔、橋場貴史、西本正幸、吉本真樹、定池 寿、石川 真依子  
－14名－（会長、副会長、監事、理事11名）

### 《議 題》

#### 報告事項 1；第2回理事会議事録

田中理事（総務部長）より、令和3年度第2回理事会議事録がメールにて送付済みと報告。

#### 報告事項 2；会計報告

宮川理事（会計）より、7月期（20日現在）は収支なしと報告。

津幡町体協のメールが転送されたので、俵理事へ講師料を支払うとともに、体協へ講師料の請求を行う。

#### 報告事項 3；津幡町スポーツライフ講習会について

俵理事（学術部長）より報告。7月14日（水）津幡町シグナスにて講義。20名弱の参加者で40代が中心。コロナ感染症の関係で座学中心の講義となった。内容は熱中症予防やセラバンドを用いたトレーニング等。

田中理事より報告。津幡町体協より分かりやすい講義であったと感謝のメールがあった。

#### 報告事項 4；北信越国体トレーナー派遣について

田中理事より、北信越国体自体がコロナ感染症のため中止となったためテニス協会のトレーナー派遣も中止となったと報告。

#### 報告事項 5；石川県スポーツドクター協議会記念講演会について

田中理事より報告。本会参加者は、田中、守山理事と齊藤、高橋会員の4名。2020年ハンドボール男子世界選手権での感染症対策（バブル方式）、スポーツ選手へのビタミンDの有用性の話があり、たいへん興味深く勉強になった。

守山理事（トレーナー部長）より報告。世界選手権での感染症対策の徹底が勉強になった。ビタミンDの話は面白く聞いた。機会があれば会員も知るといいかなと感じた。

北岡会長より報告。スポーツDr.とスポーツナース、スポーツトレーナーとハンドボール関係者を含め約50名の参加。感染症のタイムリーな話が聴けた。このような情報共有の機会を今後もつくっていく。

西尾副会長より報告。世界選手権での徹底した対策など体験できない話を聞いたことは貴

重。ビタミンDの話は確認しなければいけない事もあると思うが面白かった。

### 協議事項 1；金沢マラソントレーナー活動について

守山理事より、6月末に運営部会が開催。先週、組織委員会が開催。通常の大会とオンライン大会を平行して開催することで決定。金沢マラソンの参加者自体は少ないようだ。

今大会でも救護にDr.、ナースとともに入るが、今回はトレーナーという言葉が組織委員会でスムーズに入っていたので、トレーナーの位置づけとしては向上してきたかと感じた。継続して活動していくことが必要だと考える。

北山相談役が石川陸競の理事を退任。今後は林 美希先生が理事になる予定。本会との絡みの関係で連絡をとっておいた方がいいと感じる。

トレーナーの配置は現在のところ12名。当日、参加できる理事は連絡をお願いしたい。仮理事が参加表明。

西尾副会長より報告。金沢マラソンは北陸放送が番組作成等で力を入れている。北陸放送サイドの方と話をする機会があり、事あるごとにトレーナー活動のことを話しており、興味深い活動なので取材をしたらどうかと提案している。今回も提案したい。実現出来た場合は対応をお願いする。

### 協議事項 2；高校生スキー選手のトレーナー派遣について

西川理事より報告と提案。石川県県民文化スポーツ部スポーツ振興課より、科学的トレーニング特別強化事業でクロスカンントリー選手のトレーナー依頼（理学療法士）があった。年3回対面のあとはオンラインでの指導。対象者は鶴来高校1年生男子で中学3年時のジュニア全国大会優勝者。

以前、この事業で鶴来高校のアルペンスキーを石川理事が担当していたので、できれば石川理事をトレーナーとして派遣するのではよいのではと考える。

派遣は石川理事で決定し、詳細は高校の指導者サイドと打ち合わせを行う。

### 協議事項 3；その他について

田中理事より、感染症拡大防止ガイドラインについて、早めに会員に周知したい。金沢マラソントレーナー活動の前に送付したいと考えているとの話があった。ガイドラインで修正点等あればメールで連絡。

北岡会長より、本年度スポーツナース講習会の日程が決定。11月7日と令和4年1月16日。基本、木島病院での開催だが、コロナの状況次第ではオンラインあるいは中止の場合もあり。本会認定トレーナー講習会として活用するのであればまた検討する。

また今年度のスポーツナースフォローアップセミナーは、東京オリンピック・パラリンピックの救護活動について企画。トレーナーとのタイアップできればと考えている。

橋場理事より、先週、石川県理学療法士会より、現在、石川県で合宿中のオリンピック選手のスロベニアとポルトガルのトレーナー帯同の話があった。これはどのような経緯で話ってきたのか、本会には連絡があったのかと質問。また、二人で帯同を予定していたが結局は保険の問題が割に合わず、県の方から断ることになったと聞く。詳細に分かる方はいるか。今後、このようなケースの場合、依頼された各会で対応するのか、本会が対応するのが良いのかということもある。

吉本理事より、7月13日に県スポーツ振興課より石川県理学療法士会へ依頼。スポーツ担当理事が対応。断った最大の理由は、活動中、コロナから身を守るための保険（補償）への加入が間に合わないこと。その他、活動が1週間後の依頼であり1週間では準備ができないこと、人選が難しいこと。状況を理学療法士会と県スポーツ振興課とが協議し断りとなった。

常盤理事長より、県体協とは関係ができていますが、今後はスポーツ振興課とも良い関係作りをしていった方がいいのではないかと話があった。

守山理事より、自身の会社で検査キットの購入などを考え調べた時に、検査キットを購入すると保険をかけることができるとの条件のところがあった。それは申請した日から、いついつまでコロナに感染した場合は補償を出すというものだった。コロナ感染に関しては、そのようなものを情報収集し対応していけば可能かと。トレーナー活動時の保険などは、これまでも協議に出ているので、情報収集を行い、本会で保険をかける形ができれば会のプライオリティーにもなると考える。

協議事項は全て終了。次回、令和3年度第4回理事会を令和3年8月17日（火）20時からと決定し第3回理事会は終了。

（議事録作成：田中良和〈総務部〉）